2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　オーミケンシ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3111　　ＵＲＬ　https://omikenshi.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）高口　彰
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　　（氏名）大野　泰由　　ＴＥＬ　06-6205-7300
半期報告書提出予定日　　2026年11月10日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,520	4.6	251	－	262	－	306	－
2026年３月期中間期	1,453	△12.7	△7	－	△123	－	△330	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　291百万円（－%）　2026年３月期中間期　△319百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	43.67	38.26
2026年３月期中間期	△52.20	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	14,689	1,727	11.8
2026年３月期	15,183	1,435	9.5

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　1,727百万円　2026年３月期　1,435百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

１．上記「配当の状況」は普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況につきましては、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。
２．2027年３月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	10.7	280	－	110	－	210	－	26.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	6,602,459株	2026年３月期	6,602,459株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	5,457株	2026年３月期	5,356株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	6,597,018株	2026年３月期中間期	6,597,103株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.２「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

２．2027年３月期の期末配当予想額につきましては、業績動向等を見極めつつ検討することとしており、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2026年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期（予想）			―	17.945	17.945

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の継続的な拡大を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、継続的な物価上昇に伴う個人消費の低迷や金融政策の動向に伴う金利上昇への懸念、米国の通商政策の動向や中東情勢をめぐる地政学リスクの高まり、原材料・エネルギー価格の高止まり等の影響も含め、先行きは依然として不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは引続き各部門において収益改善に取り組んでおります。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は売上高1,520百万円(前年同期比4.6%増）、営業利益251百万円(前年同期は営業損失7百万円）、経常利益262百万円(前年同期は経常損失123百万円）、固定資産売却益214百万円、事業撤退損42百万円及び法人税等調整額（損）108百万円の計上等もあり親会社株主に帰属する中間純利益は306百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失330百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。当中間連結会計期間から、従来報告セグメントとして記載していた「食品」について、事業撤退により量的な重要性が乏しくなったため「その他」に含めて記載する方法に変更しており、前年同期との比較は、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

①繊維

繊維部門につきましては、売上高732百万円(前年同期比2.8%増）、セグメント損失35百万円(前年同期は68百万円のセグメント損失）となりました。

②不動産

不動産部門につきましては、売上高718百万円(前年同期比38.1%増）、セグメント利益501百万円(前年同期比53.5%増）となりました。

③その他

その他部門につきましては、売上高68百万円(前年同期比68.8%減）、セグメント損失17百万円(前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、固定資産の減少等により前連結会計年度末に比べ493百万円減少し、14,689百万円となりました。負債は流動負債の減少等により前連結会計年度末に比べ784百万円減少し、12,962百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ291百万円増加し、1,727百万円となりました。この結果、自己資本比率は11.8%（前連結会計年度末は9.5%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、現時点では2026年８月７日に公表した連結業績予想から変更ありません。本日公表の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上見込みに関するお知らせ」を含む2027年３月期の連結業績予想は、今後精査のうえ判明次第適切に開示いたします。また、2027年３月期の期末配当につきましては引き続き未定といたします。配当金額が決定しだい速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	521	384
売掛金	178	251
電子記録債権	37	61
商品及び製品	434	494
仕掛品	4	0
原材料及び貯蔵品	48	47
その他	195	162
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	1,414	1,398
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,580	12,238
その他（純額）	418	393
有形固定資産合計	12,998	12,632
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	770	658
固定資産合計	13,768	13,290
資産合計	15,183	14,689

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	150	192
電子記録債務	74	31
短期借入金	7,423	6,845
未払法人税等	2	7
賞与引当金	30	33
事業整理損失引当金	45	25
その他	443	216
流動負債合計	8,169	7,351
固定負債		
長期借入金	144	56
繰延税金負債	3,964	4,072
役員退職慰労引当金	81	84
環境対策引当金	35	35
退職給付に係る負債	262	275
その他	1,089	1,086
固定負債合計	5,577	5,611
負債合計	13,747	12,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	5,829	5,829
利益剰余金	△4,525	△4,219
自己株式	△4	△4
株主資本合計	1,399	1,705
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	33	20
その他の包括利益累計額合計	36	21
純資産合計	1,435	1,727
負債純資産合計	15,183	14,689

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,453	1,520
売上原価	869	724
売上総利益	583	796
販売費及び一般管理費	591	544
営業利益又は営業損失（△）	△7	251
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	128
為替差益	－	2
その他	1	4
営業外収益合計	4	135
営業外費用		
支払利息	106	114
為替差損	1	－
その他	12	10
営業外費用合計	120	124
経常利益又は経常損失（△）	△123	262
特別利益		
固定資産売却益	－	214
特別利益合計	－	214
特別損失		
固定資産廃棄損	17	2
事業撤退損	53	42
事業整理損失引当金繰入額	134	8
特別損失合計	205	54
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△329	422
法人税、住民税及び事業税	1	7
法人税等調整額	△0	108
法人税等合計	1	116
中間純利益又は中間純損失（△）	△330	306
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△330	306

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△330	306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	―
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	5	△12
その他の包括利益合計	10	△14
中間包括利益	△319	291
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△319	291
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	712	520	1,232	221	1,453	－	1,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	712	520	1,232	221	1,453	－	1,453
セグメント利益又は損失（△）	△68	326	257	△33	224	△231	△7

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△231百万円には、セグメント間取引消去12百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△244百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	732	718	1,451	68	1,520	－	1,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	732	718	1,451	68	1,520	－	1,520
セグメント利益又は損失（△）	△35	501	466	△17	448	△196	251

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△196百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△212百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間から、従来報告セグメントとして記載していた「食品」については、事業撤退により量的な重要性が乏しくなったため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、当中間連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
当社は、親会社株主に帰属する中間純利益により利益剰余金が増加いたしました。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金が306百万円増加し、当中間連結会計期間末において利益剰余金が△4,219百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（重要な後発事象）
当社は、本日（2026年11月６日）開催の取締役会において、固定資産の譲渡について決議しました。詳細につきましては、本日公表の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上見込みに関するお知らせ」をご参照ください。